

パリ 2024 オリンピック日本代表選手選考基準

全日本テコンドー協会

1. 本基準の目的

パリ 2024 オリンピックにおける日本代表選手選考に関し本基準を定める。

2. 選考実施日

2024 年 3 月下旬（予定）

3. 選考手続

- (1) パリオリンピック日本代表選手及びパリオリンピック大陸別予選日本代表選手は以下の手続により選考する。
 - (ア) 強化委員会は、選考実施日に本選考基準に従って代表選手の選考を実施し、強化本部の承認を得た上で、その結果を理事会に上程する。
 - (イ) 理事会にて、本選考基準に則して選考されているか協議し、決定する。

4. パリ 2024 オリンピック Qualification System 概要

【参照資料】・ World Taekwondo（以下 WT）発行

「Paris 2024 Olympic Games Qualification System」より。

- (1) 出場可能人数
 - 後記(i)オリンピックランキング、(ii)グランドスラムチャンピオンシリーズによる資格の場合には、一国につき男女各 4 名合計 8 名（1 階級につき 1 名）。
 - (iii)大陸別予選トーナメントによる資格の場合には一国につき男女各 2 名合計 4 名
- (2) 割当
 - (i) WT オリンピックランキング 5 位以内（2023 年 12 月のグランプリファイナルの結果までを反映したもの）

：当該選手ではなくオリンピックに参加する国に 1 枠が与えられる（1 階級 1 枠）
 - (ii) グランドスラムチャンピオンシリーズの WT メリットポイント順位 1 位（2023 年 12 月の試合結果までを反映したもの）

：当該選手ではなくオリンピックに参加する国に 1 枠が与えられる（1 階級 1 枠）。
 - (iii) アジア大陸別予選 2 位以内
：当該選手ではなくオリンピックに参加する国に 1 枠が与えられる（1 階級 1 枠）
- (3) パリ 2024 オリンピック出場資格

- (ア) パリ 2024 オリンピック参加国の国籍保有
- (イ) WT 認定段位証保有者
- (ウ) 2024 年 WT グローバルアスリートライセンス保有者
- (エ) 2007 年 12 月 31 日以前生まれの 17 歳以上の者
- (オ) WT オリンピックランキングによる出場資格の獲得については上記 (ア) ~ (エ) とあわせて下記も満たさなければならない。
2022 年 6 月 1 日~2024 年 5 月 1 日の時点で、WT オリンピックランキング上位 20 位以内にランクされていること
- (カ) WT グランドスラムメリットポイントによる出場資格の獲得については上記 (ア) ~ (エ) とあわせて下記も満たさなければならない。
2022 年 6 月 1 日~2024 年 5 月 1 日の時点で、WT グランドスラムチャンピオンズシリーズの WT メリットポイント順位の上位 20 位以内にランクされていること
- (キ) 大陸別予選トーナメントにて出場枠を獲得した場合には、上記 (ア) ~ (エ) とあわせて下記 a ~ e のいずれかの条件を満たしていること
 - a 2022 年 6 月 1 日~2024 年 5 月 1 日の期間内に、WT イベントカレンダーに記載されている大会でメダルを獲得していること
 - b 2022 年 6 月 1 日~2024 年 5 月 1 日の時点で、WT オリンピックランキング上位 20 位以内に少なくとも 1 回はランクされていること
 - c 2022 年または 2023 年の世界テコンドー選手権大会(でベスト 16 以上に進出していること
 - d 2022 年 6 月 1 日~2024 年 5 月 1 日の期間内に開催された大陸テコンドー選手権大会、または大陸別予選で準々決勝以上に進出していること
 - e 2022 年 6 月 1 日~2024 年 5 月 1 日の期間内に、開催されたナショナルテコンドー大会で優勝していること

5. 国内選考基準

(1) 選考対象者

選考対象者は、選考実施日現在、次の①から⑥の全てを満たすこと

- ① 上記 4. (3) パリ 2024 オリンピック出場資格を有する者
- ② 当協会に個人会員として登録されている日本国籍を有する者
- ③ パリ 2024 オリンピック大会でメダル獲得または入賞を目指せる日本テコンドー界の期待に応え得る競技力を持つ者
- ④ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程を遵守している者
- ⑤ 当協会強化計画を優先し活動できる者
- ⑥ オリンピック日本代表選手として選考される意思を有する者

(2) 選考基準

- (i) 「WT オリンピックランキング5位以内」の出場枠を得た場合
：5位以内にランクした選手を日本代表とする。
- (ii) 「グランドスラムチャンピオンシリーズのWTメリットポイント順位1位」の出場枠を得た場合
：メリットポイント順位1位の選手を日本代表とする。
- (iii) 「大陸別予選2位以内」の出場枠を得た場合
：2位以内となった（決勝進出した）選手を日本代表とする。

6. 上記4.(2)(iii) アジア大陸別予選に出場する日本代表（以下「大陸別予選日本代表」という）の選考について

(1) アジア大陸別予選日本代表の選考方法

アジア大陸別予選日本代表選考会（以下、「選考会」という）を開催して決定する（選考会は、2024年1月に実施予定）。

選考会においては別紙敗者復活方式を採用し、代表決定戦における「勝者」をアジア大陸別予選の日本代表とし、代表決定戦の「敗者」を補欠とする。

※敗者復活方式及び「勝者」「敗者」の決定方式は別紙参照のこと。

(2) アジア大陸別予選日本代表選考階級

本選考基準決定時のオリンピックランキングに加え、各階級における日本選手の国際競争力や層の厚さ、各オリンピックランキング上位者の本来の（最も得意とする）階級などを総合的に考慮して、下記のとおりとする。

なお、WT オリンピックランキングまたはグランドスラムチャンピオンシリーズによりオリンピック出場資格を得た場合に、出場資格を得た階級が下記と重なる場合には、強化委員会が強化本部の承認を得て、別途選考階級を決定する。

キョルギ男子－58 kg級、－68 kg級

キョルギ女子－49 kg級、－57 kg級

(3) 選考会出場資格

5. (1) の出場資格に加え、①～③の要件のいずれかを満たす者

- ① 第17回全日本テコンドー選手権大会(2023年12月3日：愛知県)の1位～3位入賞者

※なお、6.(2)の選考階級と同一階級の1位には、選考会にて第1シード権、

2位には第2シード権を与える。

- ② 2023年キョルギ・シニア強化指定選手
- ③ 2022年1月1日～2023年11月30日の期間に開催された大会において下記の(ア)～(ク)のいずれかを満たすもの
 - (ア) 世界選手権大会ベスト16以上
 - (イ) 世界ジュニア選手権大会ベスト8以上
 - (ウ) ユニバーシアード競技大会ベスト8以上
 - (エ) アジア競技大会ベスト8以上
 - (オ) アジア選手権大会ベスト8以上
 - (カ) アジアジュニア選手権大会ベスト8以上
 - (キ) ワールドグランプリへの出場
 - (ク) WT イベントカレンダーに記載のある大会でメダルを獲得したもの
※WT ランキングポイントに加点された大会に限る。

7. 選考対象者の要件の事後的検討の原則禁止

選考実施日後に、選考対象者が上記5(1)①～⑥のいずれかに該当しないことを理由として選考対象から外すことはできない。但し、当該選考対象者が故意又は重大な過失により、上記5.(1)①～⑥に係る事実について申告をせず、または虚偽の申告をした場合はこの限りではない。

8. 選考に対する不服申立

選考について不服がある場合、選考対象者は、スポーツ仲裁規程に従って、不服を申し立てることができる。

9. 代表選手の指定解除

下記①～⑦に該当した場合、当協会の理事会の決議を経て、代表指定を解除する可能性がある。ただし⑥については、理事会での決議は不要とする。

- ① 強化活動に対し、正当な理由なく欠席、遅刻または早退した場合
- ② 正当な理由なく強化方針及び指示に従わない場合
- ③ 当協会の定める定款、倫理規程その他諸規程違反を犯した場合
- ④ 日本代表選手として不適切な言動を行った場合
- ⑤ 怪我や疾病により強化活動に参加できなくなった場合
- ⑥ 日本代表選手本人から指定解除の申し出があった場合
- ⑦ 当協会強化計画を優先し活動できない場合

以上